



かわじま

議会だより

No. 142

埼玉県川島町議会
令和5年7月25日



室内プールで楽しい水泳授業

5月臨時会・6月定例会 2 ~ 5 5月臨時会・6月定例会 各議員の賛否 6

6月定例会 委員会の動き

7 一般質問 町の考えを問う 8 ~ 13

川越地区消防組合議会・比企広域市町村圏組合議会 14

証氏 土祖道 氏に議長

典一 柴田氏に副議長 しました



道祖土 証 議長

「安全安心を次世代へ」

町民の皆様には、平素から町議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

この度、5月10日開催の臨時議会におきまして、議員各位のご推挙を賜り議会議長に就任させていただきましたことになりました。

誠に身に余る光栄であるとともにその責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

もとより微力ではございますが、決意を新たにし議会運営が円満に運営されるように誠心誠意努力してまいります。

さて、ロシアのウクライナ侵攻による物価の高騰、異常気象で起こる豪雨災害や農作物への影響、そして少子高齢化に伴う人口減少など町を取り巻く情勢は厳しい状況であります。

一方町では、水害に備えた高台避難場所の整備や老朽化したごみ焼却施設を桶川市と共同で建設する事業を進めています。

さらに、川島中学校につばさ南小学校とつばさ北小学校を統合し、小中一貫校を令和7年度開校に向け進めています。町議会も適正に進められているかをチェックしながら、行政と協力しながら、安全安心のまちづくりのために全力で取り組んでまいります。

また、デジタル技術を活用し、変革を進めることが社会全体に求められる中、議会としては、デジタル化などの新しい試みを進め活性化を図っていく所存です。

今後とも、議会活動につきましてご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(◎…委員長、○…副委員長)



議会運営委員会

(定数6人)

議会の運営に関すること、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること、議長の諮問等に関することを協議します。

<後列左から>

加藤 進 矢内 秀憲

<前列左から>

菊地 敏昭 ○爲水 順二 ◎森田 敏男 小峯 松治

議長、副議長決まる！

各委員会の構成が替わ

5月10日に臨時会が行われ、正副議長の選挙、議会運営委員会及び常任委員会の選任、一部事務組合議会議員の選挙などを行い、議会の構成が決定いたしました。

(◎…委員長、○…副委員長)

文教厚生常任委員会

(定数7人)

町民生活課、健康福祉課、子育て支援課及び教育委員会に関することを担当し、議案・陳情等を審査します。



<後列左から>

森田 敏男 柴田 一典 井上 智恵

<前列左から>

小高 春雄 ○渋谷 幸司 ◎加藤 進 菊地 敏昭

総務経済建設常任委員会

(定数7人)

政策推進課、総務課、税務課、農政産業課、まち整備課、上下水道課、出納室などに関すること及び他の常任委員会に属さないことを担当し、議案・陳情等を審査します。



<後列左から>

山崎 宣佳 爲水 順二 粕谷 克己

<前列左から>

道祖土 証 ○坂本 順子 ◎矢内 秀憲 小峯 松治



議会報編集委員会は、新たな体制となりました。今後も紙面の充実と、親しまれる議会だよりの作成に委員一同がんばります。

議会報編集委員会

監査委員

小峯 松治

比企広域市町村圏組合議会議員

道祖土 証 加藤 進

川越地区消防組合議会議員

爲水 順二 小峯 松治 矢内 秀憲

5月臨時会

令和5年5月臨時会は5月10日の会期1日間で開催されました。
正副議長の選挙、議会運営委員会委員及び常任委員会委員の選任、一部事務組合議員の選挙などを行い、議会の構成が決定しました。また、専決処分3件、補正予算1件、人事案件1件を審議し、全議案を可決・承認・同意しました。

6月定例会

令和5年6月定例会は6月8日から6月15日までの会期8日間で開催されました。

条例制定1件、条例改正4件、財産の処分1件、補正予算1件、町道の廃止4件、契約の締結1件、人事案件1件が審議され、審議の結果、全議案を可決・同意しました。

また、議員提出議案として、「ごみ処理施設整備特別委員会」、「地方創生・行財政特別委員会」が設置されました。

6月定例会の主な議案

令和5年度川島町一般会計 補正予算（第3号）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、かわじま元気UPクーポンを町民に配布する事業及び新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費です。

1億3,700万9千円

川島町税条例の一部を改正する 条例を定めることについて

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことによる改正です。

川島町子ども・子育て会議条例の 一部を改正する条例を定めること について

こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律が施行されたことによる改正です。

川島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令、こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律が施行されたことによる改正です。

川島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて

民法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令、こども家庭庁設置法等の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令が施行されたことによる改正です。

川島町上下水道事業審議会条例を定めることについて

川島町水道事業審議会及び川島町下水道事業運営審議会を統合し、新たに川島町上下水道事業審議会を設置するものです。

町道路線の廃止について（町道1361号線、町道3271号線、町道1024号線、町道1486号線）

払い下げ及び埼玉県が施工した河川改修工事に伴い、町道を廃止するものです。

財産の処分について

国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所へ水害を防ぐため、売却するものです。

工事請負契約の締結について

川島町民会館屋上及び外壁防水工事の契約を 8,434 万 5,800 円で締結するものです。

議員提出議案として議決されました「ごみ処理施設整備特別委員会」及び「地方創生・行財政特別委員会」が設置されました。なお、構成は次のとおりとなりました。
 (◎…委員長、○…副委員長)

ごみ処理施設整備特別委員会（定数7人）



(後列左から)
 山崎 宣佳 加藤 進 矢内 秀憲
 (前列左から)
 柴田 一典 ○渋谷 幸司 ◎小高 春雄 小峯 松治

地方創生・行財政特別委員会（定数6人）



(後列左から)
 粕谷 克己 坂本 順子 井上 智恵
 (前列左から)
 爲水 順二 ◎菊地 敏昭 ○森田 敏男

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上程された議案	結 果	議 員 氏 名													
		井上 智恵	山崎 宣佳	坂本 順子	粕谷 克己	加藤 進	渋谷 幸司	矢内 秀憲	柴田 一典	小峯 松治	爲水 順二	森田 敏男	菊地 敏昭	小高 春雄	道祖土 証
5月臨時会（審議結果）															
専決処分の承認															
専決処分の承認（川島町税条例の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
専決処分の承認（川島町国民健康保険税条例の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
専決処分の承認（川島町一般会計補正予算（第1号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和5年度補正予算															
川島町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
人事に関すること															
監査委員の選任（小峯松治氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○	○	―
条例の一部改正															
川島町税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町子ども・子育て会議条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
新規条例の制定															
川島町上下水道事業審議会条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和5年度 補正予算															
川島町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
財産の処分															
財産の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の廃止															
町道路線の廃止（町道1361号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の廃止（町道3271号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の廃止（町道1024号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の廃止（町道1486号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
契約に関すること															
工事請負契約の締結（川島町民会館屋上及び外壁防水工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
人事に関すること															
人権擁護委員の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
議員提出議案															
ごみ処理施設整備特別委員会設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
地方創生・行財政特別委員会設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

（※議員名は、議席順となっております。）

総務経済建設常任委員会

森林環境税

問 令和6年度から国内に住所のある個人に対して課税されるということだが、町内での納付対象者は何人か。また、町への影響は。

答 概ね1万人で個人住民税均等割と併せて徴収されます。均等割額は変わりませんが、町県及び国分の内訳が変わります。

上下水道事業審議会

問 当審議会委員に女性の登用4割を目指すとのことだが、具体的な方策は何か。

答 第2次男女共同参画推進計画における審議会等の女性登用4割以上という目標を踏まえ、地域のバランスも考えて選出します。また、有識者として大学教授や上下水道に関する県の技術者等を考えています。

元気UPクーポン券

問 いつ頃作成に入って、いつ頃配付し、有効期間はいつまでなのか。

答 直ちに商工会と調整を図り、店舗の募集を行い7月10日頃までに発送できるよう準備をしております。また、クーポンの有効期限は今年の12月末までの予定です。



伊草地区の古民家を視察

古民家で地域交流が始まります

委員長コメント

伊草地区（下伊草上）の菅間邸がこの度、町に寄贈されました。今年度は、町による準備作業ですが、当該古民家としての利活用方法については、地域のかたが継続的に使えるようにとの町の配慮から「検討委員会」を立ち上げ、町民意見優先の方法が採られます。

文教厚生常任委員会

見守りサービス(単身高齢者)

問 75歳以上の単身高齢者に対して民間業者が全国展開しているサービスだが、具体的な内容は何か。

答 何らかの事情により、ライトが24時間点灯または消灯の場合に登録先へ連絡が届くシステムです。家族が遠方の場合委託業者のスタッフがうかがうこともできます。

川島町子ども・子育て会議

問 2園ある町立保育園のうち1園の廃止に関する内容を審議するための委員の選考をどのように考えているか。

答 町の方向性を決めるにあたり、廃園に関係する保護者や保育士の意見を大切に、委員選考に反映していきたいと考えています。

新型コロナウイルス

問 感染症法の位置付けが5月8日以降は5類となったが、町の感染状況を把握しているのか。

答 一部の医療機関による定点把握となったため、県において日ごとの感染者数の発表は行われないことから把握はしていません。



低学年棟建設予定地を視察

小中一貫校となる川島中学校

委員長コメント

今後、小学生が同じ場所で学ぶことになるので、委員会では、川島中学校敷地内の低学年棟予定地と危険箇所、特に隣接する水路等を視察しました。

低学年棟予定地は、体育館脇、横50.6メートル、縦34.6メートルで、建物は平屋を計画しています。

町の考えを問う

町政一般質問要旨 6月13日から15日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。
※質問項目の区分により太字にしています。

<p>加藤 進 議員</p> <p>1 ごみ削減対策の推進について</p> <p>2 中学生の部活動について</p>	<p>井上 智恵 議員</p> <p>1 犯罪のない町づくりについて</p> <p>2 町内の遊具設備について</p> <p>3 多文化の町づくりについて</p>	<p>小高 春雄 議員</p> <p>1 自治会運営について</p>	<p>山崎 宣佳 議員</p> <p>1 「川島町公共施設個別施設計画」及び「川島町公共施設等総合管理計画」の進捗状況と具体的進行について</p> <p>2 新しい公民館の在り方と地域コミュニティの維持について</p>	<p>坂本 順子 議員</p> <p>1 かわみんタクシーについて</p> <p>2 空家対策について</p>	<p>渋谷 幸司 議員</p> <p>1 空き家対策について</p> <p>2 ごみの減量化と新ごみ処理施設建設について</p>	<p>柴田 一典 議員</p> <p>1 アライグマなどの特定外来生物等の対策について</p>	<p>菊地 敏昭 議員</p> <p>1 人口減対策について</p> <p>2 町の財政と固定資産税について</p> <p>3 町の道路行政について</p>	<p>小峯 松治 議員</p> <p>1 農業政策について</p> <p>2 自主防災組織について</p>	<p>粕谷 克己 議員</p> <p>1 公立保育園の民営化について</p> <p>2 通学路の安全確保について</p>	<p>矢内 秀憲 議員</p> <p>1 町の震災対策について</p> <p>2 町の高齢者福祉について</p>
---	--	---	--	--	---	--	---	--	---	---

問 生ごみ処理機の補助制度復活は。

答

前向きに検討させていただきます。

問 平成29年度から3か年で可燃ごみ20%削減を達成したが、ごみ総量はどのように推移したのか。また、現在のごみ処理施設の現状と維持管理はどうするのか。

答 総排出量は可燃ごみが減少し、資源ごみとしての分別が進み、町民の意識が変わったためと考えます。しかし、全てが分別できている訳ではないので一工夫してごみの削減の余地があると認識しています。現在のごみ処理施設は、40年経過しているのでごみ減量化を更に進めて行きたいと考えています。

問 給食の残菜や食べ残しについては、どのように処理をしているのか。

答 給食の残菜等は、今年度から給食センター敷地内で土壌分解式の生ごみ処理器で処理をしています。

問 生ごみ処理器の補助制度の復活はあるのか。

答 12年前まで補助制度がありました。しかし、社会情勢を鑑み前向きに検討していきます。



給食センター敷地内にある処理器



加藤 進
かとう すすむ

問 中学生の部活動を今の時代に合わせて増やせないのか。(例えば、ダンス、書道、卓球男女将棋等)。

答 文部科学省では、教員の働き方改革の観点から部活動を地域に移行していく考え方を示しており、部活動を増やす事は難しいですが、総合型地域スポーツクラブには中学生を対象としたスポーツ団体がありますので、地域の活動に参加していただくのがよいのではと思います。

問 遊具の安全性が保たれているか。

答 専門技術者による定期点検を実施しています。

問 町の保育園、小学校にある遊具設備は、子どもたちが遊ぶ時に「死角」になっている場所がないか。
答 保育園では、複数の担当がそれぞれの場所に分かれて、園庭全体を見渡すことで、園児の安全な遊びを確保しております。また、保育園、小学校の遊具に対しては、職員の日常点検や専門技術者による定期点検、修繕を行っています。
問 町が管理している公園では象形遊具が一番多い状況だが、子どもが様々な遊具で体を鍛え、また危険を察知し、事故を回避する能力等を高めるため、遊具を増設する計画はあるか。

答 現在設置する計画はありませんが、遊具の修繕や更新時期に合わせて検討していきます。

問 町の犯罪の未然防止や通学路公園の安全確保のため、防犯カメラの設置拡充について、町の考えは。

答 公共施設については、まだ設置していない場所もあるので、今後増設を検討していきます。

問 川島町に住んでいる外国人と



井上 恵智 (いの上 けいち)

国際交流の促進に関する町の考えは。

答 町の多文化共生、国際交流事業は、「NPO法人川島町国際友好プラザ」に事業を委託しています。その内容は、主に日本語学習の支援、外国人に対する相談会の実施、国際交流を推進する事業等です。また、食文化に触れるイベント開催の実績もあり、今後も皆様に喜んで頂けるような事業を進めて行きたいと考えています。



八幡中央公園にある象形遊具

問 自治会運営について。

答 アンケート調査を基に、取り組みます。

問 上伊草の自治会では、自治会の退会家庭が多く見られます。理由として、高齢により自治会の班長として会議、公民館事業、地区の催物の出席、月一度の戸別の配布物等が大変になり、やむなく退会せざるを得ない状況です。また、自治会に入会する意味があるのか、毎日の生活に困らない、自治会費の支払いをしなくても良いのではないか、また、班全体で退会するところが3か所あります。自治会内で会議していますか、具体策を見い出せていないか、数年前から町へ相談してきましたが、良い案が出ていません。この問題は地域差がありますか、高齢化とともに少子化で子供の連携が薄くなりつつある現況で、自治会運営のあり方を町の社会問題と考え、解決策を見い出すべきと考えますが、町の考えは。

答 代表区長会議において、議題に取り入れ協議しています。自治会は、災害発生時に地域が一体となり取り組む防災活動や、地域が連携して住みよい町づくりを進め



小高 春雄 (おたか ちはる とも)

ていますが、退会者が多くみられます。自治会運営のあり方については、退会者の声を聞き、自治会へのアンケート調査を基に地域に寄り添った中で課題解決に努めてまいります。

問 町からの配布物等の戸別配布の検討は行っているのか。

答 数年前から町では、検討していますが、支出も多額となります。今後も役員の負担軽減に取り組んでいきます。



地域で支えあう自治会

問 公民館の移転複合化の進め方は。

答 地域活動センターを視野に進めたい。

問 公民館をコミュニティセンターに移行を考えているのか。

答 公民館のあり方については廃止を前提とし、旧村単位にとらわれない新たな地域活動センターを視野に入れ、時代の変化を見据え検討していきます。

問 中山公民館、伊草公民館は耐震基準を満たしていないまま利用されているが町の考えは。

答 望ましいことではないと認識をしています。建築から40年以上が経過し、耐震基準も満たしていないため既存施設を除却し、他施設への移転複合化の方向性を示しています。

問 公民館の移転複合化は町民の理解が一番必要ではないか。

答 町民のご意見を聞きながら10年後20年後子どもたちが良かったと言える形の選択ができるように、進めて行きます。

問 中山公民館をフラットピアに移転複合化した上で、拡張する案を検討できないか。

答 フラットピアを拡張するの他の場所の空間で設けるのか、皆



川島町公共施設個別計画にて移転・複合化が検討されている中山公民館



山崎 宣佳
やまざき のぶ よし

様とご相談した中で進めます。
問 新しい公民館の在り方と地域コミュニティの維持について町の考えは。

答 公民館活動団体の弱体化等で抜本的な見直しが必要であり、地域活動センターの設置も視野に新たな地域コミュニティ作りの場所となるよう検討しています。このセンターでは、カフェ、農業政策や福祉政策などを行えるようにすることで気軽に立ち寄れるようにする場の提供も可能になると考えます。

問 かわみんタクシーの現在の割引システムや増台の検討は。

答 良いサービスを提供できるように図ります。

問 高齢化が進む中、また運転免許証を返納する方が増える中で、現在の料金と割引システムは。

答 町内での利用は700円、ただしメーター料金2,500円以上の場合1,000円。町外病院への利用は片道2,000円、ただしメーター料金5,000円以上の場合3,000円。町外病院を往復した場合は通常4,000円のご負担となります。割引制度として75歳以上の方、障がいのある方や運転免許証返納者、路線バスとの乗り継ぎで利用される方、役場やかわみんハウスを目的地とする場合が割引制度に該当し、町内での利用では700円のところを500円。町外病院への利用時についても障がい者手帳をお持ちの方や運転免許証返納者の方に割引制度があります。

問 増台の検討はあるのか。

答 利用件数がこのところ回復している状況で、増台可能なタイミングが来れば業者に話をしてサービスの提供を図ります。

問 長年放置されている空き家の

対策は。

答 町内にある空き家件数は現在139件で、令和4年度の空き家に関する苦情は31件あり、町では所有者に対して適切な管理を依頼していますが、例外として、町が対応する場合もあります。今年度から新たに空き家対策推進室を設置し、空き家バンクや相談窓口を一元化とする体制を整備しました。また、官学民連携し、空き家の流通及び利活用のための補助制度構築などの検討を進めています。



町民の快適な暮らしの足
かわみんタクシー



坂本 順子
さかもと じゆんこ

問 可燃ごみ減量の具体的な取組は。

答 生ごみ処理機購入補助制度は実施に向けて取組んでいきます。



高橋 幸司
しげあき たかし

問 アライグマなどの防除対策は。

答 積極的に取り組んでいきます。



柴田 典一
しば たかひ

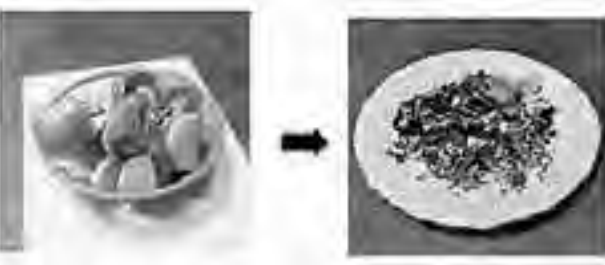
問 川島町と桶川市で新ごみ処理施設の建設に向けた協議が進んでいます。今後は町の人口や財政が縮小していくなかで、施設整備費や運転経費の負担を少なくすることが大事です。施設規模や費用の負担割合に関係するごみ排出量の比較では、川島町は桶川市よりも一人1日当たり220グラム多いが、可燃ごみの減量化に取組む考えは。

についての相談が1件きています。空き家対策の一環として、解体やリフォームに係る費用の補助や、子育て世帯など町内の方が利用できる町オリジナルの補助制度の検討をしています。

答 ごみ排出抑制のための方策を検討します。特に、可燃ごみの削減は必要不可欠なので、生ごみ処理機の導入は前向きに検証して実施に向けて取組んでいきます。

問 川島町の空き家の現状と空き家バンクの登録数はどうか。また、今年度「空家対策推進室」を設けたが、定住の促進や地域の活性化につながる具体的な補助制度や取組は何か。

答 空き家の件数は、市街化区域に61件と市街化調整区域が78件の139件です。現在、空き家バンクの登録件数は0件ですが、登録



生ごみ処理機で乾燥したら約90%の減量

問 近年、町においても、アライグマなどによる作物被害が大きくなっています。特にアライグマは、埼玉県では平成14年度に初めて2頭が捕獲されて以来、増加の一途を辿り、令和3年度には、9,000頭を超え、捕獲実績はすべての市町村に及んでいます。町では、現在60基程度の捕獲器を貸し出し、捕獲の協力をお願いし、防除を行っています。住民の協力もあって、令和4年度は、アライグマ477頭、ハクビシン30頭、タヌキ33頭の捕獲実績があります。中でもアライグマの捕獲頭数は増加の一途を辿っており、今後、捕獲機会を増やすなどの防除対策を進める必要が求められています。

そこで、①設置される捕獲器を増やす意味でも、個人が購入する際に補助を行う。

②この捕獲には餌代がかかることや、捕獲者のモチベーション向上の意味から、10頭を超える捕獲者に支援などの施策は考えられないか。

答 提案いただいた捕獲器の購入費の助成については、近隣の市でも既に導入しているところもあるので、実施状況を確認し、購入する捕獲器の品質や対象者の条件などを整理したうえで、導入に向けて積極的に検討したいと思います。また、捕獲頭数の多い方に対し、表彰や記念品等の授与について検討してまいります。



本当は気性の荒いアライグマ

問 人口減対策は。

答 町としてできることを着実に実施してまいります。



菊地 敏昭
きくち としあき

問 水田農業を基幹産業として発展してきた町は、平成20年川島ICが供用開始となり、産業団地の整備や大型商業施設の開業等により賑わい所ができました。一方、町の人口は平成12年をピークに令和5年5月には4,256人減っています。日本創成会議が発表した消滅可能性都市に川島町も指摘されたとありますが、町独自の方策は。

答 結婚支援として令和3年4月から結婚新生活支援補助があり、上限は29歳以下の世帯が60万円、39歳以下が30万円、令和4年度は2件の実績がありました。町外に転出した方が今後町内に住宅を取得する際の費用に対する補助も検討してまいります。

問 放課後児童クラブに関する支援は。

答 保護者が安心して就労・子育てを行うことのできる環境が大切であり、町施設を無償で貸付け、町独自の放課後児童健全育成事業補助金を交付しています。

問 小・中学校の給食費に関する

支援は。

答 子どもが3人いる家庭は3人目以降の給食費を無償化しています。また、昨年来食料費が高騰していますが、高騰分を保護者負担とせず、町負担としています。

問 町の財政と固定資産税の状況は。

答 自主財源である町税は39%（令和3年度決算）を占める重要な財源です。固定資産税は景気動向に左右されにくい安定財源で企業誘致の成果もあり、平成24年は16億8,600万円、令和5年度当初課税は19億4,500万円です。インター南側開発も税収増などに期待できます。



求められる人口減対策

問 農地の再ほ場整備の考えは。

答 ほ場整備の必要な箇所は順次実施していきます。



小峯 松治
こみね まつじ

問 現在、農地の集積集約を進めているが進捗状況と課題は。

答 集積面積は約805畝で県下第3位、集積率は39・89%で第1位です。課題は、自作地への愛着から交換が進まないこと、また狭小地・三角地・宅地周りの農地等は担い手が見つからないこと等です。

問 農地の再ほ場整備についての考えは。

答 区画拡大等のほ場整備は重要であり、今後、地域計画を進める中で、地域の声を聞きながら、必要な箇所については、順次実施してまいります。

問 肥料高騰に対する支援についての考えは。

答 物価高騰に対しては、大変なことと認識していますが、農家の方のみならずあらゆる産業に大きな影響を与えております。このようなことから、公平性のバランスを考えると農家の方だけに支援する事は躊躇するところです。しかし、川島町の美田を守る、未来に繋げる事についてはしっかりと進めてま

まいります。

問 自主防災組織がマンネリ化形骸化してきたが、町としての支援は。

答 毎年各地に出向き、区長に対し町職員によるハザードマップや自主防災組織の役割、避難行動要支援者制度の説明等を行っています。また、各地区防災訓練時には、防災に関する講習会、町の備蓄品等の紹介を行っています。自主防災組織においても日頃からあらゆる状況を想定した中で訓練等お願いしてまいります。



農地の集積と合わせて道路改良が望まれる

問 公立保育園の廃園とは。

答 どちらか一園の機能をなくすということです。

問 公共施設個別施設計画では、「暫定的な方向性として将来的に民営化を実施する」とあるが、保育園経営改革審議会答申では将来の方向性について「2園ある公立保育園は、一園を廃園しもう一園を残すものとする」とあるがどのようなになるのか。

答 答申を踏まえ、今後民営化も含めた公立保育園の方向性を決めてまいります。

問 こども家庭庁は不適切保育の実態調査で認可保育の虐待件数を90件と公表したが、町の状況は。

答 町内の公立と私立保育園（認可・認可外）に不適切な保育はありませんでした。

問 千葉県の子童交通死亡事故を受け、危険箇所の安全対策を取りまとめた第5期埼玉県通学路整備計画の進捗状況は。

答 改善計画（65箇所）で、町が対応する24箇所中20箇所は対応済みです。

問 通学路が川越方面の抜け道で制限速度を守らない車両が多く、危険箇所の改善要望が区長から出



粕谷 克己
かす や かつ み

されているが町の対応は。

答 現地を確認し、グリーンベルトや区画線の設置が可能か検討します。

問 令和7年度に新設される統合小学校のスクールバス運行は。

答 三保谷、八ッ保地区の遠距離通学児童（概ね2キロ）も通学支援検討対象としています。

問 同時に中山・伊草小でもスクールバスの運行が必要では。

答 両校の通学に関しては喫緊の課題はなく運行予定はありません。



令和6年度に私立の認定こども園が開園、公立一園は廃園か

問 AEDの貸し出し場所として町内のコンビニが必要では。

答 危機管理を念頭に検討します。

問 震災時に限らず普段の生活の中においても、急病人や怪我人が発生した場合、例えば子どもでも親や家族を救うことが可能です。AEDの使用については、2004年から医療従事者ではない一般住民でも使用できるようになっています。町が管理しているAED設置場所は、公共施設のみ28か所あります。人が集まる概念からは正当ですが、私が思うに、夜間・休日における震災時を考慮すると、町内コンビニにも新規設置の検討を提案したいが、町の考えは。

答 24時間営業しているコンビニは、町民にとって目印となり利用しやすい施設であるため、近年他の市町村においても、AEDの設置をコンビニにも広げつつあります。この状況を鑑み、危機管理を念頭にコンビニ設置を検討します。

問 今現在、「川島町自動体外式除細動器（AED）貸出事業実施要綱」があります。これは、町民が参加する各種行



矢内 秀憲
や ない ひで のり

事等にAEDを貸し出すための定めです。当要綱の貸し出し条件は「原則として、医療従事者又は普通救命講習もしくは上級救命講習を受講したものが、行事の期間を通じてその会場等に配置されること」とされています。これでは、一般住民でも使用できるようにしたにもかかわらず、借りられないことがあります。そのため、この貸し出し条件の緩和が必要と思うがいかがか。

答 要綱の内容については、一部改正の必要があると考えますが、心肺停止状態などの緊急時には、尊い人命救助の観点から受講の有無に関わらず貸し出しを行います。



是非ともコンビニにAEDを!!

川越地区消防組合議会

為水 順二
小峯 松治
矢内 秀憲

比企広域市町村圏組合議会

道祖土 証・加藤 進

議会日誌

4月

6日 議会報編集委員会

5月

10日 5月臨時会
議会運営委員会
議会全員協議会
28日 町水防訓練

6月

1日 議会運営委員会
議会全員協議会
8日～15日 6月定例会
13日 議会報編集委員会
15日 議会全員協議会
27日 議会報編集委員会

9月の定例会予定

議案審議

一般質問

9/6(水) (予定)

9/19(火) (予定)

9/21(木) (予定)

9月定例会は9/6～9/21の予定です。

表紙解説

今日は、中山小の1、2年生にとって今年初めてのプール授業！学校からスクールバスに約25分乗って川越市内の民間施設にきました。この施設は室内プールのため、天気は左右されず、水温も保たれているので快適に活動できます。
低学年の水泳では、楽しみながら水に慣れる事が大事です。子どもたちは習熟度別に3つのグループに分かれて専任のインストラクターから丁寧に指導を受けていました。初めてのプール授業で緊張気味の子もたちでしたが、インストラクターのわかりやすく楽しい指導を受けて次第に子どもたちの元気な声がプールに響いていました。
(写真・文章/渋谷)

編集後記

最近、アニメ「となりのトトロ」を見る機会がありました。私にとっては、水道もなく、家には車やテレビもない、時間がゆっくり流れていた時代背景に、郷愁も感じ、子どもながらの感情を思い起こさせる作品でもあります。
そんな中、ふと幼い子どもにとつて、この作品はどんな受け止め方をされているのかという問いが浮かびました。恐らく、彼らなりに時代背景を想像し、違和感なくストーリーを受け入れているのではないかと思うようになりました。
5月より、3人の新人議員を迎え、新しい風が吹き始めています。私たちも、新しい発想や自分と異なる意見を理解しようとする時に、関係する知識や情報も必要ですが、想像力も大事なのかなと思わせる時間がそこにありました。
(柴田)

議会報編集委員会

委員長 柴田 一典
副委員長 渋谷 幸司
委員 渋谷 克己
委員 粕谷 順子
委員 坂本 宣佳
委員 山崎 智恵
委員 井上 証
相談役 道祖土 証